

1 今年（H27）の傾向

総評・講評（大問毎に）

①問題数が増加し，ケアレスミスによる失点が大きくなり，受験生の取りこぼしが心配である．時間内での解答は難しかったかもしれない．

②新課程の内容の出題はなく，旧課程履修者に不利のない出題であった．

③例年東北大では，問題文から考察させ，知識がなくとも考えれば正解にたどり着ける，良く考えられた出題がなされてきたが，今年はそのような出題が減少している．

1. 心臓の左心室の容積と内圧に関する内容は，教科書に記載がなく，問題文には解答するための十分な情報が少なく，難解なレベルであった．

2. 旧課程のDNA複製に関する問題であるが，リーディング鎖，ラギング鎖に関する深い理解が求められている．求められている正確な説明を書き上げることは難しい小問があった．

3. 易しい用語，記述問題と粘り強く考えれば正解にたどり着けるレベルの遺伝，生殖に関する出題であった．

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【文系】

| | |
|------|---|
| 文学部 | % |
| 教育学部 | % |
| 法学部 | % |
| 経済学部 | % |

【理系】

| | | | |
|-------|-----|-----|-----|
| 理学部 | 65% | 歯学部 | 60% |
| 工学部 | | 薬学部 | |
| 医学部 | 75% | 農学部 | 60% |
| 保健／看護 | 50% | | |
| 〃 検査 | 50% | | |
| 〃 放射線 | 55% | | |

3 来年受験する生徒へのアドバイス

1. 教科書レベルの知識の理解と定着を大事に

受験問題に取り組む上で、基礎・基本の確立は最優先事項である。新課程では教科書の情報量も増加し、全てを消化吸収することは大変であるが、問題演習時に傍らに置き、いつでも見返せるようにするなどして、いつでも教科書レベルの基本に立ち返ることが実力向上の一步となる。

2. 過去問について

近年、東北大入試の生物では3題構成で続いているが、出題範囲は広く、出題内容も多様であり、今後もその傾向は続くと思われる。過去問演習を通して東北大の生物について精通することはもちろん、多くの演習を丁寧にこなすことで、臨機応変に対応出来る柔軟な思考力を養って欲しい。